

01 広がりつなげる ZINE

伝えたいことを自由に表現し制作した小冊子を ZINE(ジン)と呼びます。ZINE に関する様々なプロジェクトを、浜松市鴨江アートセンターや松本市美術館などを会場にして全国各地で行なっている ZING(ジング)に、活動を始めたきっかけやこれまでの活動、最近新しく始めたこと、今後の展望についてお聞きしました。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 5 |
| 3 | 4 | |
- 1.「creative lab AmaZing 2013」開催スペース
 - 2.2020 年に鴨江アートセンターで開催した「ZING のパブリッシングラボ」の様子
 - 3.「かけがわ茶エンナーレ 2020+1」で制作・配布した ZINE
 - 4.2022 年に開催した「井戸端プリント byZING」の様子
 - 5.「ブスブス byZING」スペース

ZINGのはじまり

伝えたいことを自由に表現し制作した自主制作の小冊子を ZINE と呼びます。ZINE を浜松市で展開するアイデアとして、「完成した ZINE を展示・販売するのではなく、来場者が展示作品をコピーし ZINE の形にし鑑賞する」企画を考え、2012 年にイラストレーターの友野可奈子さんと一緒に「ZING vol.1」を開催したことから ZING の活動が始まりました。その後、簡単に ZINE を作ることができる「ZINE KIT」を開発しワークショップを行ったり、気軽に ZINE や印刷物を制作・発信できるパブリッシングスペース「creative lab AmaZing」を開催したりしました。ワークショップや展覧会、トークイベント、映画上映会、ライブイベントや持ち込み企画など、印刷場所として利用するだけでなく、様々な事柄を含むプロジェクトを行いました。鴨江アートセンターでは 2017 年に「ZING in KAMOE つくる DAYS」を開催して以降、毎年、印刷物制作の場を設けたり、リソグラフ印刷機を使った ZINE 作りワークショップを開催したりしています。

様々な場所で ZINE を広げる

長野県松本市の NPO 法人松本クラフト推進協会が主催する「工芸の五月」内のプロジェクト「みずみずしい日常」にて、毎年 5 月に「井戸端プリント byZING」を松本市美術館等で開催し、観光客や地元住民に開かれた印刷物制作の場を展開しています。沖縄県那覇市の若狭公民館主催のプロジェクト「パーラー公民館」では、ZINE のワークショップを開催したことで、プロジェクト内で更なる ZINE の展開が起きました。静岡県掛川市が主催する「かけがわ茶エンナーレ 2020+1」では、茶箱のポストを設置



ZING

2012 年活動開始。自主制作の小冊子媒体 ZINE(ジン)や印刷媒体がどのような関係性を作るかをワークショップ、場所作りを通して実践・展開を行う。主宰はデザイナーであり「マッスル NTT」「オトロン」や障害福祉サービスマネジメント・ノヴァ(NPO 法人クリエイティブサポートレッツ)のメンバーとのバンド「とびうら」などの音楽活動を行う吉田朝麻(よしだあさほ)。2022 年 11 月より浜松にて「ブスブス byZING」を運営する。

し、来場者や住民から集めた原稿を使って ZINE を制作・配布する「日常茶飯 ZINE プロジェクト」を行いました。コロナ以降の ZINE のあり方や新たな作り方を模索しました。山梨県立文学館が主催する「特設展 文芸雑誌から ZINE(ジン)へ -古今同 ZINE 誌-」では、館内のリソグラフを使った ZINE ワークショップを開催したり、ZING の過去のプロジェクトで誕生した作品や浜松のデザイン専門学校生が ZINE の授業(ZING 開催)で制作した ZINE を展示したりしました。様々な場所で、ワークショップや場所作りを通して、人と人との関係における印刷物の可能性を広げる活動を行なっています。

「ブスブス byZING」の立ち上げ

2022 年 11 月に、リソグラフ印刷や ZINE 制作、シルクスクリーン印刷などの制作スタジオと、様々な作家の ZINE や作品を揃えるショップが合わさった「ブスブス byZING」を、ジンスタ(ZINE をつくる人)であり筆奏者でもあるすずしさんと一緒に浜松で立ち上げました。浜松にはリソグラフを使って印刷物を制作できる場所が他に無いので、色んな人にこの印刷機の魅力を知ってもらい、活用してもらえればと思っています。色んな人の「作りたい」を形にし発信する事で、様々な交流が生まれる場になればと思っています。

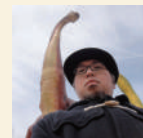
ZINGのこれから

これまでのような期間限定ではない活動拠点をオープンできたので、この場所で作られた様々な人の作品を、色んなところに持っていったり配布したりして広げていければと思っています。身近なところや離れたところにいるまだ見ぬ同志に紙面上で巡りあえる事が ZINE の良さの一つです。ZING の活動でそのような橋渡しを体現できればと思っています。

02 GOKINJO MAP

きっかけを与えてくれる場所

1. 自己紹介をお願いします。
2. 紹介したい場所について教えてください。
3. どんなきっかけがありましたか。エピソードを教えてください。

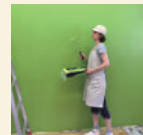


タテイシヒロシ
Instagram @tateishihiroshi

1. 浜松市をウロウロして発見しています。興味のあるモノ・コト・人・場所を掘り下げて言葉にして理解することを日々行っています。2. 鴨江ヴンダーカンマーです。鴨江アートセンター近くにある怪奇骨董秘宝館。3. 去年の企画展で自分の絵を初めて人前に出しました。評価を頂く事で自信を持つきっかけになりました。



鴨江ヴンダーカンマー



夏目とも子
https://www.tomoko-natsume.com/

1. 現代美術家です。場所の記憶を手繰り、現地の壁を塗ったり削ったりして作品を作っています。2. アートセンター2階ロビーの窓です。3. 陽光の差し込む時間にロビーの椅子に座り窓の外をぼんやり眺めます。お向かいの木下恵介記念館の真白い外壁を見つめていると、どこかの国の何時代なのか一瞬分からなくなります。脳内ショートトリップは気持ちを切り替えるのに良いです。



鴨江アートセンター2階ロビーの窓



笈有子
Instagram @kakehiyoko

1. 美術作家です。兵庫県出身。2010 年より浜松在住。染色・日本画・インスタレーションなどを行なっています。今は赤紫を染める虫「コチニール」にはまっています。2. 遠州鉄道旧奥山線広沢トンネル付近です。3 キロほど散歩道が続きます。木が繁っていて夏でも涼しく住宅街を眺めながらのんびり散歩ができます。3. 街中からアトリエ方面へ続く道。ドイツのハンブルクに住んでいた時によく散歩していた道にどこか似ていて、懐かしく感じます。

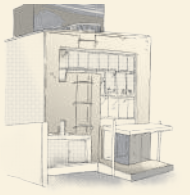


遠州鉄道旧奥山線広沢トンネル付近



太田絵里子
https://www.otaeriko.com

1. 浜松市出身、広島市在住の絵描きです。和紙などに岩絵具で描いています。2. 浜松画塾です。芸大・美大を受験するための実技指導をしてくれる予備校です。3. 高3の夏、ただただ絵が描きたいという気持ちだけで入塾しました。先生の「日本画が向いてるんじゃない?」という一言から本格的に絵描きを目指し今に至ります。いつも先生に「ぜんぜんダメ!」と厳しく指導していただき精神的にも鍛えられました。

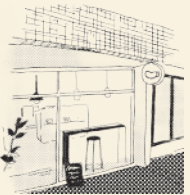


浜松画塾



林満里奈
Instagram @hanon_9148

1. OL 画家です。ライブペインティングや自分がドキッとするような色を求めた制作を通して、表現領域を日々模索中です。2. MEI COFFEE & GALLERY です。田町にある、あたたかな日当たりのよいカフェです。3. 大学卒業後、東京から地元浜松に戻り、初めて個展をした場所です。様々な方と出会うきっかけになり、自分のモチベーションに繋がった幸運の場所です。

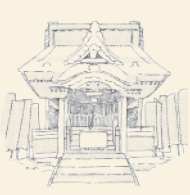


MEI COFFEE & GALLERY



梅田英春

1. バリ島の影絵人形芝居遣い、ガムラン奏者として全国で上演や演奏をしています。鴨江アートセンターの副館長です。2. 遠江分器稲荷神社です。田町の風揚げの準備の拠点です。3. 3月からはこの集会場に通りつめ、普段は毎日、神社で手を合わせています。ここがボタのリアルな浜松です。



遠江分器稲荷神社



中嶋莉沙
https://www.facebook.com/korekarabuddy/

1. 浜松に移って2年。住みやすくてお気に入りの街になりました。浜松国際交流協会(HICE)の「これからパディ」の運営のお手伝いをしています。2. 浜松市多文化共生センターです。HICE や JICA デスクがあります。浜松で国際交流や外国の方々向けのボランティアや情報をゲットするならココ! 3. 「これからパディ」というコミュニティを通して友達が増えました!様々なルーツを持った人たちと出会えて、いつも刺激をもらえます。



浜松市多文化共生センター

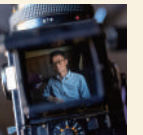


青島左門
https://samonaoshima.com/

1. 浜松出身です。絵画、彫刻、インスタレーションなど美術館の個展や芸術祭に出品して、いのちとは何か?を探求しています。2. 浜松市楽器博物館です。3. 鴨江アートセンターで知り合った、楽器博物館館長の鶴田雅之さんと、西浦田楽の話をしました。担当の役だけを代々 1300 年も継承している話に驚きました。

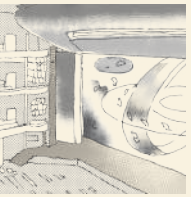


浜松市楽器博物館



大塚敬太
keitaotsuka.com

1. 写真業を営んでいます。美術業界を中心に撮影の依頼をいただいています。また、自らの作品を制作したり、大学で講師を務めたりしています。2. アクトシティのホールです。様々なコンサートや演劇を楽しめる場所ですが、オスマは大ホールの観客です。3. 宇佐美圭司さんの油彩画が原画なのですが、劇場という特殊な空間に入った私たちが迎え入れ、開演に向けて気分を高揚させてくれるようなステキな観客です。



アクトシティのホール